

# 自分の生き方を探る職場体験

教科・領域 総合的な学習の時間

岩国市立玖珂中央小学校 6 学年

## キャリア教育の観点

地域の人々の生活に密着している場所での職場体験活動を通して、自分の日常生活の中で果たす役割と価値について考える機会とする活動です。

具体的なねらいは次の3つです。

- ① 職業人と活動を共にすることで、今の自分の生き方のよさと課題に気付く。
- ② 職業人の話を直接聞き、働くことの喜びや苦勞、仕事の大切さや厳しさを知る。
- ③ 計画、実践、振り返りを通じて、小学生として今後何を努力すべきなのかを考える。

【自己理解・自己管理能力】【キャリアプランニング能力】

## 中学校とのつながり

小学校における職場体験活動では、自分自身に自信をもたせ、自己肯定感を高め「やればできる」と前向きに行動する力、自己の目標実現のために自らの考えや感情をコントロールして進んで学ぼうとする力（自己理解・自己管理能力）を育む活動を中核にしている。そして、働くことの意義の理解や自らが果たすべき立場や役割を踏まえた望ましい職業観・勤労観（キャリアプランニング力）を育む活動に重点を置く中学校の学習へとつないでいる。

したがって、中学校では事前にアンケート調査を行い、どのような職種に興味があるかを把握し生徒の興味関心も考慮しながら業種を選定するのに対して、小学校ではより身近にある職場で児童が直接体験できることの多い業種を選定し、実体験を通して自分にできることやしたいことを知り、自分のよさや可能性を実感できるように活動を仕組んでいる。平成24年度の職場体験先は、玖珂子どもの館、グリーンオアシス、玖珂幼稚園、玖珂保育園、玖珂中央幼稚園、ルンビニ保育園、玖珂苑、みんと村、中島生花店、シゲオカスポーツ、ミコー食品、マックスバリュー玖珂店、美容室・髪切屋、久楽荘、菓子乃季、玖珂総合支所である。

### <キャリア教育全体計画における職場体験の位置づけ>

#### 平成25年度 キャリア教育全体計画 <抜粋>

【学校教育目標】 豊かな人間性とたくましい実践力のある児童の育成

【目指す児童像】

- 聴き合う子…①自ら進んで学ぶ ②工夫して学ぶ ③共に学ぶ  
支え合う子…①違いを認め合う ②互いに助け合う ③人のために行動する  
粘り強い子…①運動を楽しむ ②体力を高める ③最後まで頑張る

【キャリア教育によって育む児童像】

仲間や大人との関わり合い、学び合いを通し、夢や希望を持って自分らしく、自律的に生きようとする子

#### 【高学年の内容】

- ・家庭における自分の役割を理解し、自分の仕事を工夫する。
- ・地域の人々の生活に関わる施設・職業の見学や調査を通して、様々な職業の様子が分かり働くことの大切さに気付く。
- ・職場体験学習などの職業や進路にかかわる体験活動を通して、主体的に自己の生き方について考える。
- ・中学校生活を体験することにより、新しい生活に対して期待をもつ。

## アポイントメント

社会人のマナーとして、事前に相手（受入れ先）に予定を聞いて訪問し、職場体験に必要なことや気をつけなければならないことなどを聞く活動をしている。電話での交渉から事前訪問まですべて児童が行う。

### ① 事前打ち合わせの準備（3時間）

電話のかけ方についてグループで話し合練習させる。マニュアルを用意し言葉遣い、挨拶の仕方、話す内容について参考にさせている。実際に何度も練習させ自信をもって事前打ち合わせの日程調整を電話で行わせている。

### ② 事業所での事前打ち合わせ（3時間）

訪問予定時刻に合わせて、事業所を訪ね、打ち合わせを行っている。出勤および退勤時刻、服装、昼食を含む持ち物、体験内容、留意事項などをメモをとりながら確認させ、学校で準備をさせている。

## <電話のかけ方 マニュアル>

これが模範だ！めざせマナー達人

【担当の人を呼びだしてもらおう場合】

- ・「もしもし、〇〇でいらっしゃいますか」
- ・「〇月〇日、職場体験でお世話になります 玖珂中央小学校の〇〇です」
- ・「職場体験学習を担当されている〇〇さんをお願いします」

【担当の方がおられない場合】

- ・「職場体験学習のことでわかる方が他にいらっしゃいますか」

【担当者に電話の目的を伝える場合】

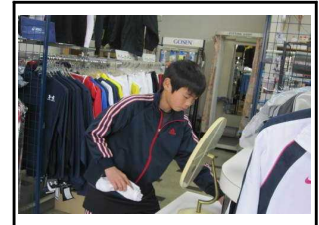
- ・「職場体験をさせていただくため、事前に体験の内容が知りたいので、お伺いしたいのですがよろしいでしょうか」……

## 職場体験当日

子どもは、9:00～15:00に各事業所において、挨拶、清掃、整理整頓、接客、荷物運びなど基本的なものから、食事の手伝い、保育、介護、商品の並べ替え、商品の包装、配達、花籠づくりなど職種ごとに特色ある活動を行った。

活動を共に行う中で、事業所の方から仕事についての思いや考え、やり方、楽しさや苦労などを語っていただいた。さらに、小学生の頃のお話やどのようにして今の仕事をするようになったかなどについても自由に語っていただき、子ども達が夢や目標をもてるようにご配慮いただいた。

子どもは、当日マニュアルをもとに事前学習したことを生かし、緊張感の中で体験を終えた。子どもなりに地域の皆さんの生活を支える仕事のすばらしさを感じとることができたようである。（6時間）



## <職場体験 当日 マニュアル>

### これが模範だ！めざせ社会人

- |                                     |                                |
|-------------------------------------|--------------------------------|
| 1 感謝の気持ちを持って<br>皆さんを受け入れてくれた事業所に対して | 5 言葉遣いに気をつけよう<br>敬語を使って話す      |
| 2 社会人になったつもりで<br>どんなに辛くても笑顔で働こう     | 6 指示を待っているのではなく積極的に動く          |
| 3 時間を守ろう<br>相手への信用を失います 10分前行動      | 7 言われたことは素直に従う<br>仕事があれば仕事をもらう |
| 4 大きな声であいさつを<br>相手の目を見て 心を込めて       | わからなければ「すみません…」と聞く             |
|                                     | 7 けが・交通安全に気をつける<br>普段の通学路と違います |

## 職場体験学習報告会

職場体験終了後、まとめを事業所ごとに作成し、各学級で発表した。このことにより、体験した仕事の内容、体験して思ったこと、職場の人たちから学んだこと、これからの自分の生活に生かすことなどについて明確にすることができた。また、家庭でも親の仕事のこと自分の将来のことなどについて話し合うよいきっかけになった。各事業所へは、作成した報告書とともに感謝の意味を込めて礼状を添えてお送りした。

(計画・準備 2時間 報告会 1時間)



## 考察・課題

職場体験学習を終えて、子どもたちは、得意なことや好きなことを生かして将来になりたい自分の姿を描いたり、その実現のために細かな目標をもったりすることができたようである。これからは、目標達成のために自分のできることややらねばならないことを努力し続けるよう具体的な教育活動を通して、しっかりと励ましていくことが大人の役割であると感じている。

地域における社会経験や家庭における手伝い等の生活経験の少ない子どもたちである。挨拶の仕方・言葉遣いなど生きる上の基本的な事柄については、事前にトレーニングをして自信をもって職場に出かけることが重要であると再認識した。また、事業所においても平素の業務が多忙であるにもかかわらず、職場体験を受け入れてくださっている。感謝の気持ちをもって真剣に活動に取り組むことで職場体験学習への理解と協力が得られると考えている。

子どもが、夢や希望、憧れる自己のイメージを獲得するためには、地域と家庭、学校が連携を継続・発展することが大切である。平成12年度から行っている職場体験活動のノウハウを生かして今後も継続的に行っていきたい。